

# ホームページ公開用登録者データ

令和8年6月8日（公開日）

項目	内容
分類	<input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 大学・公設試験研究機関 <input type="checkbox"/> 医療・福祉・健康関連団体 <input type="checkbox"/> 金融機関 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> その他( )
機関名	株式会社 Emma Japan
所在地	〒503-1316 岐阜県養老郡養老町押越 448-1
URL	https://emmajapan.jp
機関等の概要	活性水生成機の開発・製造・販売を行なっている。 <b>【資本金】</b> 100 万円
業種 (産業分類区分 中分類)	他に分類されないその他の卸売業 (55)
自社が持つ技術・素材・商品など	<p>(株)Emma Japan は、水の物性に着目したウェルネス技術の研究開発を行う日本発のブランドです。水分子の状態やクラスター構造、浸透性といった要素に着目し、日常的に摂取する水の質を最適化することを目的とした独自技術の開発に取り組んでいます。水という基礎的要素に対する科学的アプローチを通じて、ウェルネス領域における新たな価値創出を目指しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■1. 主力製品であるEmma ボトルは、独自設計の内部構造および機能性素材の組み合わせにより、水の物理的特性に穏やかな変化を与えることを目指したプロダクトです。これにより、口当たりや飲用時の体感的なまろやかさの向上など、水の飲用体験における質的变化が確認されています。(※体感には個人差があります)。</li> <li>■2. 水の状態変化に関する定量的評価(第三者機関のバイオマーカーテストによる抗酸化率や酸化還元電位、振動サーモグラフィなど)による物質的証明だけでなく、大学・研究機関と連携し、生体への影響に関する基礎研究成果も出て医療機器登録に向けて動いています。</li> <li>■3. 素材面においては安全性および安定性を重視し、長期使用に適した品質基準を採用しています。さらに、日常使用における再現性と継続性を重視した設計により、生活環境の中で無理なく取り入れられる応用性も備えています。</li> </ul>
興味がある技術・素材・商品など	<p>(株)Emma Japan は、水の構造やエネルギー状態に着目した独自の活性化技術の中核に、暮らし・建築・産業分野へ新たな価値を提案しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■1. 携帯型の Emma ボトルは日常の水を整え、ウェルネス市場に対応する高付加価値製品です。</li> <li>■2. さらに、建材として空間環境に作用する Emma タイル、大容量水の品質を安定化させる Emma タンクを組み合わせることで、「飲む・住む・育てる」すべての水環境を最適化するエイジングケア住宅の実現を目指しています。</li> <li>■3. 加えて、農業・水産・畜産分野では成長促進や品質向上への応用が期待され、地域ブランド創出や持続可能な社会への貢献にも寄与します。これらの技術は、医療・ウェルネス・環境分野との融合を通じて、国内外での新たな事業展開と価値創造を可能にする基盤となります。</li> </ul>
お困りごと・課題など	新たな医療機器としての登録ができないか申請中。